

横浜三工会ニュース

横浜国立大学工学部物質工学科工学系同窓会

【目次】

- ❖ 塩沢 文朗副会長 御挨拶
- ❖ 岡崎 慎司教授 御挨拶
- ❖ 活動報告
- ❖ 2013年度の会計報告
- ❖ 飯田 嘉宏名誉教授 瑞宝重光章の受章



塩沢 文朗副会長 御挨拶 「同窓会への期待」

昨年、横浜三工会同窓会の副会長を務めさせていただいております。1975年化学工学科卒業、77年に大学院を修了しました。まだ、自分の時間を自由にもてる身分ではないものですから、どれほどお役に立てるか分かりませんが、微力ながら同窓会の活性化に取り組んでいきたいと思っております。

社会に出て40年になろうとしています。そんな中で最近感じることは、社会のあちこちで重要な役割を果たしている横浜国立大学の同窓生が数多くいらっしゃるにもかかわらず、同窓生間のつながりがとても希薄なことです。私は、「群れる」ことは好きではありませんが、人間の社会はやはり人のつながりで成り立っています。人と人のつながりを大切にすることは世界中で一緒です。私は、これまで米国とオランダで計5年間暮し、国際機関で働いたり、多国間の交渉に携わったりしてきましたが海外ではそのことをより痛切に感じます。

人とつながるきっかけがあるということは、可能性が広がるということです。そして同窓会は、そういった機会を提供できる場の一つです。世代を超えて、同じ分野の言葉、同じ話題を共有できる人たち、しかもさまざまな世界で活躍している人たちが、つながりを作ろうと思えば作ることができる場です。そういった同窓会のポテンシャルを引き出し、引き出さなければと考えています。ただ、そのためには卒業生、現役の学生、加えて大学の教員、職員の方々が一緒になって、そうした場をつくり上げる努力をしなければなりません。「誰かが作ってくれる」ものではありません。

私はStanford大学で学ぶ機会を得ましたが、彼らが同窓会活動に投じている努力は大変なものです。（個人的にはあまり嬉しくはない話ですが）卒業して30年になるにもかかわらず、同窓会から寄付の依頼状が毎年送られてきます。そこには、大学の現状や目指す将来像、学生が望んでいることなどが熱く語られています。学長、学部長の丁寧なメッセージも寄せられています。少額ですが寄付をしたら、寄付金の恩恵を受けた学生さんから直筆のお礼状が届いたのにはびっくりしました。

同窓会活動をここまで高めていくことは、一朝一夕にはできませんが、今年から現役の学生さんたちも同窓会活動に深く関与するような仕組みになったと聞いています。是非、そういった若い人たちの期待も踏まえながら、同窓会活動をより実のあるものにしていけたらと考えています。そういった活動の実現に向けて、皆さんからのご協力もお願いしつつ、副会長の役割に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

横浜三工会副会長 塩沢 文朗

岡崎 慎司教授 御挨拶

私は、物質工学科1991年学部卒（横浜安工会21期）、1993年修士卒後、朝倉祝治先生（現名誉教授）の研究室で助手を長らくさせて頂きました。その後、2007年より准教授として昨年度3月31日まで教鞭をとらせて頂き、本年度4月1日付で教授に昇任させていただきました。本学出身者として、学生時代から数えますと25年以上キャンパスに居座っていることになり、気持ちは若くてもこれははれっきとした古株であると改めて痛感している次第です。現在、私の研究室では、物理化学の小分野である電気化学に軸足をおきながら、ガスセンサを中心とした化学センサデバイスの開発や材料の化学的劣化現象（主に腐食）の抑止技術や健全性評価手法の開発に注力しており、安全・安心な社会の実現に役立てる研究成果が出せるよう日々格闘しております。また、教育面では、大学院におけるπ型技術系人材（幅広い専門性とプロジェクトマネジメント等の共通的な工学センスを有する人材）養成のための大学院コースの運営や大学開放の一環として技術系公開講座の開催にも深く携わっております。

私の教育研究分野は社会との接点も比較的多いので、そこから得られる様々な問題やニーズを実学として学究し、現場にフ



ードバックできるような研究を行っていききたいと常々意識しております。そのためには、社会で活躍する同窓生の皆様との人脈は貴重な宝であり、そのつながりを一層強めたいと考えております。ぜひお気軽にお声かけ下さい。

近年では、大学もサバイバル時代に突入し、大学の姿も大いに変容しております。もちろん競争原理の導入やグローバル化への対応等、制度的な改革はもちろん必要ですが、大学の機能分化など教育や研究のあり方にも大きな影響を及ぼす改革も一方で加速しています。様々な研究人材からなる大学などの教育機関を画一的な価値観によって二極化させる等、大学の本来有する多様性を損なうことにならないようしないといけなと考へますし、縦割りの理論ではなく、本当に社会のニーズに沿った改革であるのかという熟慮が真に必要だと思へます。そのためには、同窓会の皆様の生の声がかせないものと信じています。今後も職務に邁進するとともに、同窓会の発展にも微力ながら貢献していきたく存じますので、引き続きご指導の程、お願い申し上げます。

なお、今年で4期目となりますが三工会の会計を務めております。皆様から賜りました会費の一部は、未来を背負う優秀な学生への表彰にあてられておりますので、本学だけでなく社会の発展にもご寄与いただいておりますことは是非ともご理解いただきたく存じます。今後も諸先輩方ならびに研究や教育面でご一緒させていただいた多くの若い世代の皆様には同窓会への一層のご支援、ご厚情を切にお願い申し上げます。

2014年度横浜三工会総会・特別講演会・懇親会を開催

横浜三工会総会・特別講演会・懇親会を2014年10月25日(土)に開催致しました。総会において、2013年度の活動報告、会計報告が承認されるとともに、理工学部化学・生命系学科化学応用EPの4年生10名、バイオEPの4年生3名を対象として、上ノ山周会長から学業優秀者の表彰として横浜三工会学生奨励賞を13名に授与致しました。また、総会では当会の岡田佳巳副会長の特別講演「水素エネルギーの大規模貯蔵輸送技術」を頂き、その後、懇親会を第9回ホームカミングディとジョイントする形で実施しました。



2013年度会計報告

2014年度の横浜三工会総会で承認されました2013年4月1日～2014年3月31日までの会計を以下に報告させていただきます。

| 収入 | | 支出 | |
|--------------------|------------|-------------------------|------------|
| 平成24年度繰越金 | 2,358,027 | 工学部同窓会連合年会費 | 80,000 |
| 卒業生・修了生年会費(H26年3月) | 198,500 | 平成24年度総会費用(資料発送、名簿管理など) | 439,128 |
| 郵便振込(年会費、寄付金など) | 428,200 | 学生表彰(奨励賞など) | 81,604 |
| その他(利息) | 465 | 名簿更新作業謝金 | 14,868 |
| | | 小計 | 615,600 |
| | | 振替口座残高 | 0 |
| | | 普通貯金残高 | 2,131,129 |
| | | 手元現金残高 | 238,463 |
| | | 残高小計 | 2,369,592 |
| 合計 | ¥2,985,192 | 合計 | ¥2,985,192 |

飯田 嘉宏名誉教授 瑞宝重光章を受章！！

本学元学長、飯田嘉宏名誉教授が2014年11月3日に瑞宝重光章を受章されました。この勲章は、公共的な業務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、その果たした職務が、複雑度、困難度、責任の程度などの面から特に重要と認められる者に授与されるものです。

横浜三工会事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5

横浜国立大学理工学部化学・生命系学科化学応用EP内

TEL : 045-339-3991, FAX : 045-339-4012, E-mail : sanko@ml.ynu.ac.jp

<http://www.sankou-kai.ynu.ac.jp/>